

令和5年度外部評価 事業評価シート

No	4	事業名	アグリライフ支援事業
所属	産業部農務課農政係	事業開始年度	平成19年度
事業内容	初心者・親子向けの野菜づくり講座を実施します。		
目的	市民一人ひとりに「農」を身近に感じてもらい、「農」を楽しむことを通して、多くの市民が交流を深めながら、生き生きとした「農」のある暮らし(アグリライフ)の実現を目指します。		
根拠法令等	無		
総合計画	5Kの分類:経済(7農業 農とのふれあい)		
関連事業	第3次安城食料・農業・交流基本計画		
事業の必要性	他の実施主体では行っておらず、市が実施すべき事業であり、多くの講座で応募者が定員を超えるなど、ニーズがあると考えております。 また、農産物栽培の講義や農作業体験などを実施し、農を支える人材の育成や農とのふれあいの促進をはかることは、農業関係者が増えることにつながり、第3次安城食料・農業・交流基本計画の施策でもある、農業の持続的な発展や優良農地の保全を図るうえでも重要な事業と考えます。		

【実施状況】どのような活動をしてきましたか

活動実績	令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜づくり講座 2講座 <ul style="list-style-type: none"> ・春夏野菜づくり 4月～8月(受講者:25名 申込:26人) ※コロナ禍により全体講義、調理実習、視察研修が中止 ・秋冬野菜づくり 8月～1月(受講者:18名 申込:18人) ※コロナ禍により調理実習、視察研修が中止 ○ スポット講座 2講座 <ul style="list-style-type: none"> ・親子秋ジャガ植付収穫(受講者:22組 申込:41組) 植付8月、収穫11月 ・親子いちごプランター植付(受講者:20組 申込:55組) 10月 ※ミニマトプランター植付、親子さつまいも植付収穫はコロナ禍により中止 ○ 一坪農園 1講座 <ul style="list-style-type: none"> ・秋冬野菜づくり 8月～11月(受講者:16組 申込:63組) ※春夏野菜づくりはコロナ禍により中止 ○ 野菜づくり実践コース 1講座 7月～6月(受講者:5名 申込:6人)
	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜づくり講座 2講座 <ul style="list-style-type: none"> ・春夏野菜づくり 4月～8月(受講者:25名 申込:40人) ※コロナ禍により調理実習中止 ・秋冬野菜づくり 8月～1月(受講者:25名 申込:30人) ○ スポット講座 4講座 <ul style="list-style-type: none"> ・ミニマトプランター植付(受講者:17組 申込:28組) 5月 ・親子さつまいも植付収穫(受講者:25組 申込:97組) 収穫9月 ※コロナ禍により植付体験中止 ・親子秋ジャガ植付収穫(受講者:17組 申込:57組) 収穫11月 ※コロナ禍により植付体験中止 ・親子いちごプランター植付(受講者:18組 申込:60組) 10月 ○ 一坪農園 2講座 <ul style="list-style-type: none"> ・春夏野菜づくり 4月～6月(受講者:20組 申込:83組) ・秋冬野菜づくり 8月～11月(受講者:20組 申込:64組) ○ 野菜づくり実践コース 1講座 7月～6月(受講者:4名 申込:5人)
	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜づくり講座 2講座 <ul style="list-style-type: none"> ・春夏野菜づくり 4月～8月(受講者:25名 申込:43人) ・秋冬野菜づくり 8月～1月(受講者:25名 申込:33人) ○ スポット講座 4講座 <ul style="list-style-type: none"> ・ミニマトプランター植付(受講者:19組 申込:40組) 5月 ・親子さつまいも植付収穫(受講者:25組 申込:101組) 植付5月、収穫9月 ・親子秋ジャガ植付収穫(受講者:22組 申込:55組) 植付8月、収穫11月 ・親子いちごプランター植付(受講者:19組 申込:56組) 10月 ○ 一坪農園 2講座 <ul style="list-style-type: none"> ・春夏野菜づくり 4月～6月(受講者:22組 申込:115組) ・秋冬野菜づくり 8月～11月(受講者:22組 申込:66組) ○ 野菜づくり実践コース 1講座 7月～6月(受講者:3名 申込:3人)

【事業費】どのくらい税金が投入されていますか。どのくらい費用が掛かっていますか。

No	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		① 事業費(決算額) (千円)	6,518	7,219
年間事業費等の推移	需用費	1,790	2,290	3,330
	役務費	407	454	456
	委託料	642	658	651
	使用料及び賃借料	2,117	1,999	1,998
	負担金、補助及び交付金	1,500	1,500	1,500
その他	62	318	140	
②	人件費(従事職員数×6,300千円 令和3年度からは6,600千円)	24,381	25,080	25,080
	従事職員数 (人)	3.9	3.8	3.80
③	総事業費(①+②) (千円)	30,899	32,299	33,155
財源内訳	一般財源 (千円)	5,704	6,257	7,082
	特定財源(受講料 など) (千円)	814	962	993
	財源合計 (千円)	6,518	7,219	8,075

【活動指標】成果を達成するために必要な活動とその量

	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
野菜づくり講座(講座数)	2	2	2
スポット講座・一坪農園(講座数)	6	6	6

【成果指標】この事業が目指す姿と目標値

	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
野菜づくり講座が充実していたと感じた受講者の割合	100%	100%	100%
講座終了後に自作園地を確保できる受講者の割合	79%	80%以上	80%以上

【課題】成果を達成する上で、課題・障壁となっているものは何ですか

課題	<p>活動実績・事業成果等を踏まえて記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜づくりコースやスポット講座、一坪農園の申込者が増加している一方、受講者数の定員を増やすことが難しい。 ・耕作地は借地しており、借地料を払っているがいつまでも借りられる保証はない。 ・講座終了後に野菜作りを借地で行いたくても農地が見つからない受講者がある。 ・希望する農地を借りることに対するハードルを下げるが必要と考える。
----	--

【論点】課題・障壁を取り除くための取組内容

外部評価での論点	<p>野菜作り実践コース(一年間)の開講。 畑・樹園地お見合いシステムの紹介、運用。 区画数の検討。 将来に向けて維持、拡充の検討。</p>
----------	--

令和5年度外部評価 事業評価シート

【参考比較】

法律や政令等により、市の裁量では、改善、廃止など変更ができない内容がある場合は、簡潔に記載してください。

--	--

他市の
実施状況等

- 岡崎市 農務課農業支援センター主催「おかざき農業塾」
期間：4月～2月（50回） 受講料：15000円
- 刈谷市 農政課生きがい楽農センター主催「野菜作り研修」
期間8月～7月 受講料：20000円
- 豊田市 農ライフ創生センター主催「生きがいづくりコース」
期間3月～2月 受講料20000円

	<p>アグリライフ支援センターは「安城アグリライフ構想」を総合的に推進する拠点として設置（平成21年8月開設）。 将来的には農ある豊かな地域社会づくりに貢献してもらいたいことを目指す。 ・安城アグリライフ構想について（平成20年度） 「アグリライフ」とは、市民が「農」を身近に感じて「農」を楽しむライフスタイルのこと。 農を楽しむことを通じて食の安全・安心について考えたり、食と農を介して多くの市民が交流を深め農のある暮らしの実現を目指す。</p> <p>関連計画 食料・農業・交流基本計画</p>
	<p>経年の状況 (事業開始の経緯 や改善の経緯)</p>